

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3 サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	当グループホームが他事業所の実習場所となっている中で、認知症ケアに対する職員の、意識面での動機づけになってはいるが、職員個々を見れば、専門職としての技量にばらつきがある。	内外の事業所と積極的な交流をする事で、気づきを促し、認知症ケア専門職としてのスキルアップを図っていく。	①法人内事業所や他のグループホームとの積極的な交流を図っていく中で、当グループホームの課題を抽出し、対応策を検討していく。②職員同士が学び合う環境の創出を、自ら行っていく。③管理者・ホーム長・リーダーとの面接を定期的実施する(3~4ヶ月毎)	12ヶ月
2	26	介護計画作成には、家族や本人の思いを反映させた内容としているが、その実行に関して、時に統一されない時がある。	統一したケアの実施	①カンファレンスに家族が同席をしていただく。②記録の見直しや申し送りの工夫により、チームとしての連携を強化していくことで、より細やかなケアの提供に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。